

荒れ狂う海 村を襲う

被害額は6億2,147万円に

予想を超えた大しけ

サケ定置網、養殖棚が大打撃



8日の朝になってもおさまらない高波。
沢漁港では漁船が1隻転覆しました



黒崎漁港でも防波堤を越え、
高波が押し寄せました



10メートルを超える高波が襲う白井漁港。
50トンのブロックが6個飛散しました

漁業被害が
約6億円に

猛烈に発達した低気圧の通過に伴い、10月6日から8日にかけて県内は強い風雨に見舞われ、被害が続出。村でも定置網や漁船など水産関係の被害額約6億円を主に、合計で6億2147万円（10月27日久慈地方振興局まとめ）に達しました。「こんな大しけは何十年ぶりだ」とベテランの漁師も言うほど、海は荒れ狂い、海岸では防波堤を越えて白いキバをむく高波が襲いました。転覆する漁船や団子状態の漁船、高波で打ち上げられた流木や石が散乱し、悲惨な光景が現実になりました。

7日の午後1時には、旭日区あさひの4世帯7人に避難勧告が出されました。幸い人的被害はありませんでしたが、今回の大しけは平成3年2月（被害額13億7千万円）以来の低気圧というには予想をはるかに超えた大しけでした。